

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称： きらら子どもの家	種別： 認可保育園
代表者氏名： 園長 森田 真沙代	定員（利用人数）： 60（66）名
所在地： 236-0057 神奈川県横浜市金沢区能見台5-20-16	
TEL： 045-374-3760	ホームページ： https://kirara-kodomonoe.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日	2013年4月1日
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 みどり会
職員数	常勤職員： 20名 非常勤職員： 15名
専門職員	保育士 23名 栄養士 2名
	看護師 1名 調理員 4名
	事務員 1名 保育補助 2名
	用務員 2名
施設・設備の概要	居室数 保育室5、ホール1、調理室1、事務室2、園庭2、相談室1 設備等 エレベーター、駐車場、駐輪場、ベビーカー置き場、冷暖房、床暖房、和室

③理念・基本方針

保育理念：「生命を大切に、思いやりの心を育てる」
 保育目標：「自立する心・自律できる心を育む」
 基本方針：・子どもの最善の利益の実現を目指すこと、および保護者・地域の親子に対して子育て支援を行い、もって乳幼児の健全な育成に貢献する。
 ・自分を尊重し、相手も尊重する気持ちを育てていく。
 ・子どもの発達段階を熟知し、子ども自身の力（自らを成長・発達させる力）を信じ、それぞれの発達段階にある子どもを一人一人観察し、その子に適切な環境づくり、援助をしていく。
 ・自分の行動を自ら選択でき、してよいこと・いけないことの判断ができる、そして正しい価値観を持って成長できるように援助する。
 ・子どもは愛情と信頼を受けて過ごす環境の中でこそ自尊感情と他者を思いやる気持ちが育つということ踏まえ、子どもの「こころ」を大切にする保育を行う。
 ・大人がコントロールするのではなく、誘いや仕掛けを用意しながら、子どもが主体的に楽しく生活できる保育を目指す。

④施設・事業所の特徴的な取組

当園の園名は、「きらら子どもの家の子どもたち一人ひとりが、きらきら輝きながら育ち、自立(自律)していくように」との思いを込めて名付けられました。その思いから保育目標を「自立する心、自律できる心を育む」に定め、モンテッソーリ教育を主軸にアート、ヨコミネ式体操プログラム、英語、茶道、剣道などのさまざまな専科活動を取り入れ、子どもたちに多様な体験の機会を提供しています。モンテッソーリ教育では教具を使った「おしごと」を通して自分自身の「やりたい」を実現しています。アートでは等身大の自画像を製作して表現する楽しさを知り、ヨコミネ式体操プログラムでは運動能力を高め、和室で行う茶道では卒園前に保護者を招いて5歳児がお点前を披露しています。

園での生活は、異年齢保育を基本としています。1、2歳児が散歩に出かけたり、3～5歳児が園庭で遊んだりして、戸外活動も十分に行われています。異年齢の子どもたちが一緒になって走り回り、落ち葉拾いの探検に出かけ、また遊具の貸し借りなどからルールを学んでいく姿が見られます。子どもたちはさまざまな活動を通して、年齢の大きい子どもに憧れの気持ちを持って行動をまねてみたり、また年齢の小さい子どもには優しく接したりして関わりを持ち、その積み重ねによって社会性の土台を作っています。

職員は子ども一人ひとりの様子をよく観察し、適時に手を差し伸べ、その子どもに合った支援を行っています。また、看護師でもある園長が子どもの健康管理を行い、少しの体調変化にも気づき保護者に共有するなどきめ細やかな対応を行っています。栄養士は安全でおいしい給食を提供し、子どもたちの食育活動を支援するほか、保護者向けに献立レシピや季節の食情報などを提供して保護者の意識を高めています。保護者には年1回の保育士体験を勧め、来園した保護者が子どもたちの輪に入って思いきり遊ぶ姿も見られます。このように、園の職員と保護者が手を取り合って子どもたちとしっかり関わり、子ども一人ひとりが「きらきらと輝きながら育っていける」ように支援しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年6月6日 (契約日) ~ 2024年2月6日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	1 回 (2017 年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆モンテッソーリ教育を通して自立心を育み、自律に向けて踏み出しています

開園以来モンテッソーリ教育を主軸とし、その理論に基づき園の基本的な生活時間においては0歳児、1、2歳児、3～5歳児の異年齢グループで生活しています。子どもたちは豊富に揃えられたモンテッソーリ教具を手に取り、洗濯や編み物などの「おしごと」に取り組んでいます。多くの職員がモンテッソーリ教師資格を有し、子どもが自らやりたいことをできるように支援して、子どもの自立心を育てています。そして、子どもたちは毎日の園生活を異年齢で過ごすことで、年齢の大きな子どもの言動を憧れを持って模倣し、年下の子どものお世話をし思いやりや優しい心を身につけ、自律への一歩を踏み出しています。

◆保護者を支援し、保護者と一緒に子育てをしていくことを大切にしています

保護者との連携において「仕事と子育ての両立」「子どもの生活リズムの保障」を大切にしています。園では連絡帳アプリを活用し、毎朝保護者から送信される子どもの情報を把握し、園からは個々の体調、食事などの基本情報とともに活動の様子や良い表情の瞬間をとらえた写真を送信して園での生活を伝えています。このように24時間の連続した子どもの生活を双方で共有し、適切な支援につなげています。また、保護者の要望を受けて紙おむつの月額定額制を導入し、保護者の負担軽減を図り歓迎されました。子どもの健康面においても看護師でもある園長が日々こまやかに子どもの体調管理を行い、忙しい保護者の仕事と子育ての両立を支援しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、当園2回目の第三者評価を受審しました。前回の評価を受けた後、2020年度に経営層の交代があり、それを契機に、運営と組織体制の全面的な見直しを実施しました。この変革期において、受ける評価に対する不安がありました。この一連の変化の中で、保護者の皆様にも不安を感じさせてしまったかもしれません。しかし、そのような状況の中でも、高い評価をいただき、深く感謝の意を表します。

当園が受けた評価は、我々にとって非常に名誉なことであり、職員一同の自信に繋がりました。また、園の方針や今後目指すべき方向性を明確にする上で、重要な指針となりました。受審を通じて指摘された問題点には、誠実に対応し改善を進めてまいります。私たちは、より質の高い保育園を目指し、保護者の皆様や地域社会に貢献していきたいと思っております。

再度、皆様のご支援、ご協力、そして温かい評価に、心から感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり